



<p>平成 17年 11月</p>	<p>○堺市危機管理室、堺市総務局、堺市上下水道局、堺保健所にご参加いただき、「CV RESCUE(レスキュー) KTE-1000S」の浄水性能試験を行う。プール水、河川水、汽水域の水を原水とし、浄水後の水が飲料水基準に適合することを実証。</p>
<p>18年 1月</p>	<p>○兵庫県による『ひょうご 安全の日のつどい』に「CV RESCUE(レスキュー)」を出展。</p>
<p>2月</p>	<p>○『第10回 震災対策技術展／自然災害対策技術展』に出展。</p> 
<p>3月</p>	<p>○『2006スーパーマーケット・トレードショー』（主催：社団法人日本セルフ・サービス協会）に出展。</p> <p>○大阪府の『ベンチャービジネス融資支援事業』の認定を受ける。</p> <p>○NHKニュースで泥水や海水を飲み水に浄化する災害用浄水器として、「クリスタル・ヴァレー」と「CV RESCUE(レスキュー)」が紹介される。</p> 

平成 18年 3月

○『エコアクション21 ハンドブック 2006年版』(環境コミュニケーションズ社発行)に、弊社の環境経営の取り組み事例が紹介される。



4月

○『第二回神崎川畔さくらまつり』(後援:大阪府他)にスタンプポイントで運営協力。

○三重県志摩市にて、志摩市水道部、防災課、市議会議員の立ち会いのもと、災害用浄水器の公開デモンストレーションを行う。



5月

○『第2回 Business Link 商売繁盛 at INTEX OSAKA』に災害用浄水装置「CV RESCUE(レスキュー)」を出展。

○『第23回吹田産業フェア』(後援:吹田市他)に出展。
地元吹田市民の皆様に、弊社製品の理解を深めていただきました。

平成 18年 5月

○『2006年度 工業技術賞』を受賞。

「緊急災害用の小型軽量可搬式 全水域対応型 飲料水製造装置」の技術力とその必要性が認められ、受賞いたしました。今後も、水を事業とする専門メーカーとして、技術・性能・品質のますますの向上に努めてまいります。



※工業技術賞とは

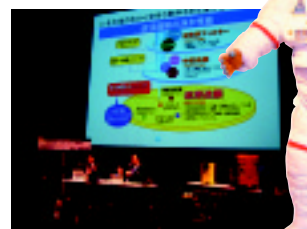
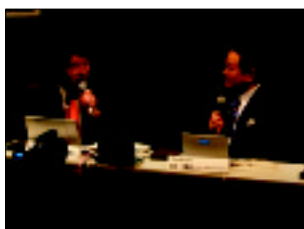
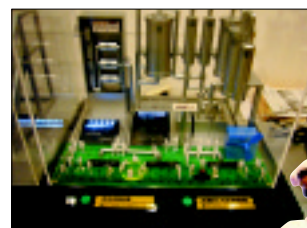
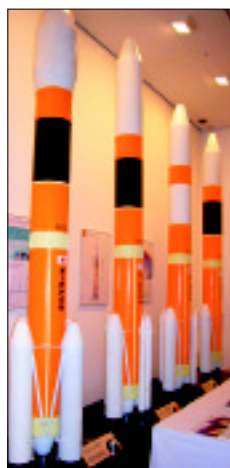
大正15年7月に国内における工業界の進歩発展と先端科学の普及・育成を図るため、大阪市立工業研究所の研究者および国内の先端企業より日本の工業化へ大きく寄与する研究・発明・技術開発を行った研究者を対象に昭和18年から毎年1回、表彰しています。

6月

○『第25回 宇宙技術および科学の国際シンポジウム (ISTS) 』に展示紹介される。

開催日:2006年6月4日(日)～11日(日)

会 場:金沢21世紀美術館



※公開講座「宇宙最新情報トークショー」では宇宙航空研究開発機構の岩本氏と弊社代表・前田が「身近で活躍する宇宙:災害時の本当に安全な飲料水確保の必要性和浄水システムについて」をテーマに対談を行い、その模様はインターネットTVで生配信される。

○環境シンポジウム「地球を守ろう!」(主催:吹田商工会議所)に参加。

宇宙航空研究開発機構の主任研究員 小口美津夫先生に、「宇宙からみた地球環境と宇宙での生活」をご講演いただく。弊社代表・前田がパネリストとして、環境経営についてのパネルディスカッションに参加。

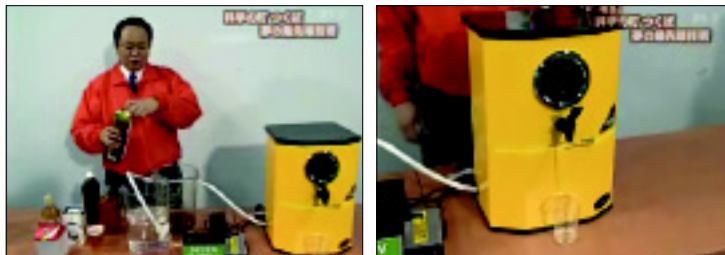
(6月27日)

平成 18年 7月

○「第10回自治体総合フェア」に出展。(7月12日～14日)

10月

○NHK(衛星第2)のテレビ番組『おーい、ニッポン』で、宇宙技術で造られた製品として、クリスタル・ヴァレー浄水システムが紹介される。(10月1日)



○『危機管理産業展2006』に「緊急災害用安全飲料水化装置」を出展。(10月24日～26日)

○(独)宇宙航空研究開発機構の『宇宙オープンラボ』制度において、弊社の技術提案「宇宙で安心して飲む飲料水製造装置に関する研究」が採択される。

宇宙航空研究開発機構との共同研究ユニット(宇宙用飲料水製造ユニット)を結成し、宇宙での利用に向けた本格的な共同研究を開始する。

(選定結果発表日:10月18日)



○NHKの首都圏ニュース番組に、緊急災害用クリスタル・ヴァレー浄水装置が紹介される。(10月25日)



11月

○日刊工業新聞に宇宙用飲料水製造装置の研究が紹介される。(11月3日)



平成 18年 11月

○日本経済新聞に宇宙用飲料水製造装置の研究が紹介される。(11月8日)



○TOKYO FMのラジオ番組「SKY」で、弊社代表・前田のインタビューが放送される。

テーマ:JAXAと共同開発を行っている宇宙用飲料水製造装置について
(11月9日)

○「ベンチャーエキスポ2006」に出展。
(11月14日～15日)



○朝日新聞(夕刊・科学面)で、宇宙用飲料水の研究が紹介される。
(11月21日)



12月

○JAXA産学官連携シンポジウム2006「宇宙×イノベーション」でクリスタル・ヴァレー浄水器が紹介される。(12月7日)

平成 18年 12月

○テレビ番組「夢の実現者たち・宇宙ビジネス」(テレビ大阪)で、弊社が紹介される。日本と米国の宇宙ベンチャーを紹介する番組で、宇宙でも安全でおいしい水の供給をめざす弊社が、日本の宇宙ベンチャー企業として紹介される。

(12月9日)



○テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」で、弊社が紹介される。

宇宙ビジネスを紹介する特集の中で、JAXA(宇宙航空研究開発機構)と共同研究を行う弊社が取り上げられ、「緊急災害用クリスタル・ヴァレー浄水装置」の浄水運転の様子も放映される。(12月13日)



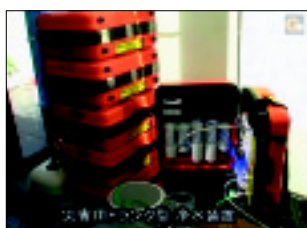
○「エコプロダクツ展」のJAXAブースにて、クリスタル・ヴァレー浄水システムが展示紹介される。(12月14日～16日)

平成 19年 1月

○「ベンチャーフェア JAPAN 2007」に出展。(1月15日～17日)

○CS放送及びケーブルテレビで、クリスタル・ヴァレー浄水装置及び、宇宙用飲料水の研究が紹介される。(1月17日)

番組名:読売 ザ KANSAI



平成 19年 1月

○日本経済新聞に弊社代表・前田が紹介される。(1月17日)



○日刊工業新聞に災害用クリスタル・ヴァレー浄水装置が紹介される。(1月17日)



○「月刊 環境ビジネス2月号」に、弊社記事が紹介される。(12月26日発行)



○「千代田区帰宅困難者避難訓練」(総合防災訓練)が行われ、災害用クリスタル・ヴァレー浄水装置による浄水運転が行われる。(1月17日)

2月

○JAXA i(宇宙航空研究開発機構の情報発信センター)で開催された、「暮らしの中に生きる宇宙技術-スピンオフ-」展で、クリスタル・ヴァレー浄水器CV-1500 SRが紹介展示される。(2月3日~3月9日)

○「第31回 分析機器展と講演・技術発表会」(主催:社団法人大阪工研協会)に参加。ポスターセッションにて発表。(2月21日~22日)

平成 19年 2月

○多摩六都科学館のプラネタリウム投影番組「スピンオフをご存じですか?宇宙技術特集」の中で、宇宙用飲料水製造ユニット(JAXAとの共同研究)が紹介される。(2月24日~6月17日)

3月

○「堺市 英彰校区 ふれあいセンター祭り」で災害用クリスタル・ヴァレー浄水装置の浄水運転を行う。(3月25日)



○宇宙航空研究開発機構の「宇宙オープンラボ」セミナーにて、「宇宙で安心して飲める飲料水製造装置に関する研究」の成果発表を行う。

セミナー名:イノベーション:関係者の融合-関係者の融合なくして成功は無い-(3月26日)



4月

○「第三回神崎川畔さくらまつり」にスタンプポイントで運営協力。(4月7日)

○日本経済新聞に「高齢化・環境問題に応用できる宇宙技術」として宇宙用飲料水の研究が紹介される。(4月23日)



平成 19年 4月

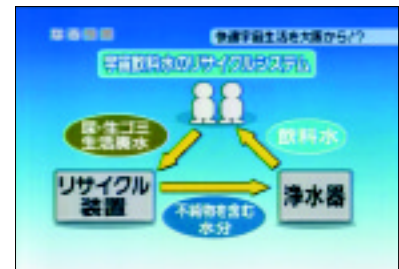
○『第24回吹田産業フェア』（後援:吹田市 他）に出展。地元の吹田市民の方々に弊社製品への理解を深めていただきました。（4月12日～13日）

6月

○吹田市水道部発行「すいどうにゆーす」（No.22）に緊急災害用浄水装置が掲載されました。災害時に備えて、学校のプール水などを利用して飲料水を確保するために、吹田市水道部に8台導入されています。（6月1日）



○経済番組『なるほど!ラボ なるほど経済研究所』（テレビ大阪）にて宇宙ビジネスを特集。宇宙ステーションや月面基地内での水のリサイクルを目指す浄水器としてクリスタル・ヴァレーCV-1500SRが紹介されました。（6月2日）



○「第5回通天閣で知るほんまもん市」へ出展。（6月3日）

○「第6回 産学官連携推進会議」において、JAXA（宇宙航空研究開発機構）展示ブースにてCV-1500SR、CV-2000SRが紹介される。高市大臣にも浄水をご賞味いただきました。（6月16日～17日）



平成 19年 8月

○第2回「ものづくり日本大賞」において優秀賞を受賞しました。

「緊急災害用 小型軽量可搬式 全水域対応型 飲料水製造装置」の開発に対して代表取締役・前田芳聰が「第2回ものづくり日本」大賞「製品・技術開発部門」優秀賞を受賞いたしました。（8月24日）



今回の受賞は、弊社が蓄えてまいりました技術力に加えて、宇宙航空研究開発機構（JAXA）様との連携により技術レベルが向上したことが評価されたものです。また、JAXA様が運営されている宇宙オープンラボにも参画しており、将来の宇宙開発で利用できる「小型・低消費電力の宇宙用飲料水製造装置」の開発も、JAXA様と共同で行っています。今後とも、水を事業とする専門メーカーとして、技術・性能・品質のますますの向上に努めてまいります。

※「ものづくり日本大賞」とは

【制度概要】

我が国の産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく貢献してきた「ものづくり」を着実に継承し、さらに発展させていくため、製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や、伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、「ものづくり」に携わっている各世代の人材のうち、特に優秀と認められる人材に対して内閣総理大臣賞・経済産業大臣賞等を授与するものです。

【表彰部門】

- 製造・生産プロセス部門
- 製品・技術開発部門
高度な技術的課題を克服し、従来にない画期的な製品・部品や生産技術の開発・実用化を実現させた個人またはグループを表彰します。
- 伝統技術の応用部門
- 海外展開部門

【シンボルマークの由来】

日本最古の書物「古事記」に記述されている伊弉那岐命・伊弉那美命が「天の沼矛（あまのぬほこ）」で国土を搔きまわし、それによって日本の始まり（＝ものづくりの始まり）があったとされる伝承をモチーフに表現しています。

ものづくり（＝国づくり）を継承する生産者の精神をシンボライズし、中心の要素は「天の沼矛（あまのぬほこ）（＝技術者）」そのもので、回りを囲む半月形は「大地（＝日本国土）」であり、日本に根を張り、豊かな国民生活の形成に貢献している様を表現しています。

カラーリングのブルーは「高度な製品・技術」と「文化・伝統を支えていく精神」をイメージしています。



平成 19年 8月

○吹田市の事業所ごみ増大に対して、吹田商工会議所をとおして環境省登録のエコアクション21を各事業所に啓蒙・推進し、吹田市の事業所ごみの減量に大きく貢献したことにより、平成19年度 吹田市廃棄物減量等推進表彰として「吹田市ごみ減量・再資源化推進活動功労者表彰」を阪口吹田市長より賜りました。(8月29日)



○NHKニュース番組「おはよう日本」で弊社が紹介されました。

関西の元気な中小企業を紹介する「おはよう関西」コーナーにて宇宙ステーションでの水のリサイクルを目指す技術力のある企業として、弊社が紹介されました。
番組名:NHKニュース番組「おはよう日本」の「おはよう関西」コーナー
(8月27日)

○「ネパールの星」世話人代表の上田幸男さんよりの依頼で、特別にネパールの水質に合わせた携帯用のポンプ式浄水器を提供いたしました。

(※ネパールに持参された携帯用浄水器は、ご依頼により特別に作製したものであり、通常の商品として販売はいたしておりません。ご了承くださいますようお願いいたします。)

9月

○「エコアクション21 全国交流研修大会 びわこ2007」が滋賀県長浜市で開催されました。

環境負荷を減らした企業活動を推進する国際規格ISO14001と同じ目的を持つ日本国内での簡易版として、その導入のしやすさと維持費用の安さから「エコアクション21」の認証・取得が広がりつつあります。

全国のエコアクション21の審査人の方々は650名ですが、昨年開催された山形大会で、審査人200名(参加30%)の参加が、今回は500名(参加77%)に上りました。エコアクション21の審査人資格を持つ代表取締役・前田芳聰も大阪地域事務局の普及委員会の委員として参加いたしました。

本大会では、嘉田(カダ)滋賀県知事が『「もったいない」で拓く持続可能な社会』をテーマとして講演され、環境先進県である同県での環境負荷低減の取り組みをアピールされました。(9月8日)

<p>平成 19年 9月</p>	<p>○NHK BS-1「経済最前線」のレポートコーナーにて弊社が紹介されました。 H2Aロケット「かぐや」の打ち上げにあたり、JAXA(宇宙航空研究開発機構)と民間との関わりを特集。その中で弊社の具体的な取り組みや、今後の展開、商品の説明などが紹介されました。 番組名:NHK BS-1「経済最前線」レポートコーナー (9月25日)</p>
<p>10月</p>	<p>○「エコアクション21スクール」が開催されました。 吹田商工会議所にて「エコアクション21スクール」が開始されました。受講者は、来年2月まで計4回の講義を受けた後、同年6月までにエコアクション21認証取得を目指すものです。エコアクション21審査人資格を持つ弊社代表の前田も講師として指導させていただくことになっております。 ※エコアクション21認証・登録制度は、中小事業者の環境への取り組みを促進するために、環境省の主導のもと、2004年からスタートした制度です。取得・維持費用を抑えられることもあり、最近ではISO14001に代わる環境経営認証制度として注目されています。(10月17日)</p> <div data-bbox="1052 945 1414 1221" data-label="Image"> </div> <p>○「大阪大学との産学交流マッチングフェア2007」へ出展いたしました。 会場:大阪大学吹田キャンパス (10月22日・23日)</p>
<p>11月</p>	<p>○日本経済新聞に災害用浄水装置が紹介されました。 マンション・戸建分譲の大倉建設株式会社様が、建設される物件に弊社災害用浄水装置を導入すると発表されました。居住者様向けに使用方法の講習会を開催し、震災時に飲料水を確保できるようにすることで、災害支援対策を充実させています。(11月28日)</p>